

# 土木学会コンクリート委員会

## 平成19年度 第4回規準関連小委員会 議事録

日時：平成20年3月4日（火）14:00～16:00

場所：土木学会2階会議室

出席者：橋本親典（委員長）、鎌田敏郎（幹事長）、荒巻智、上野敦、浦野真次、江口和雄、小川洋二、国枝稔、黒井登起雄、新藤竹文、田中秀樹、椿龍哉、寺村悟、中村雅之、原田修輔、久田真、横関康祐、濱田秀則、片平博（敬称略）

配布資料：

- 4-0 平成19年度第4回規準小委員会 議事次第
- 4-1 平成19年度第3回規準小委員会 議事録（案）
- 4-2-1 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法（案）
- 4-2-2 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法（案）一解説
- 4-2-3 Test method for measuring resistivity of patching repair materials with four electrodes (draft)
- 4-2-3 Test method for measuring resistivity of patching repair materials with four electrodes  
-commentary-
- 4-3 杉山様からのご質問とその回答案
- 4-4-1 ポリエチレン製シースの試験方法について
- 4-4-2 同上 参考資料
- 4-5 非破壊検査機器を用いる方法等に関する規格・規準の現状

議事：

### 1. 委員長挨拶

- ・橋本委員長より、今年度は規準編を出版したこと、来年度は今年度と同じメンバーで更に活動を活発化させたい旨の挨拶が行われた。

### 2. 前回議事録の確認

- ・資料4-1をもとに荒巻委員より議事録(案)が紹介され、承認された。

### 3. 第4回および第5回常任委員会報告

- ・橋本委員長より以下の報告があった。
  - 四電極法の案について2月20日までに意見をもらって修正し、3月常任委員会で承認してもらう予定である。
  - 新コンクリート示方書の講習会が本部行事として東京 3/27-28、大阪 4/17-18 で実施される。その後各支部でも順次実施される予定である。

### 4. 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法（案）について

- ・1/25の委員会では、タイトルの英文表記についてのみ、修正意見をもらったので修正した。  
Test method of measuring resistivity for・・・を Test method for measuring resistivity of・・・に修正
- ・2/20までに追加の意見は無かった。
- ・資料4-2-3、4-2-4について、修正意見があれば4/15までに国枝委員に提出すること。
- ・土木学会論文集に掲載する原稿は江口委員が執筆する。

## 5. 杉山名誉会員からの質問に対する回答について

- ・資料 4-3 について上野委員から説明があった。
- ・以下の点を考慮に入れ、橋本委員長と上野委員で解答書を作成し、コンクリート委員会名で回答することとなった。
  - 海外の実態を掲載する
  - 現在の実積率の規準はあくまで砕石（コンクリート用骨材以外も含む）の規準
  - 形状係数の測定は手間が大きく、また細骨材への適用は困難。
  - 粒径判定実積率のほうが合理的

## 6. 各WGからの活動報告

- ・資料 4-4-1 および 4-4-2 に基づき、中村委員より、ポリエチレンシースに関する規定の現状について説明があった。審議の結果、鋼製シースも含めたかたちで、どのように規準化すべきかを検討するための新たなWGを作成することとなった。WGメンバーは樁委員、中村委員の他、シースに詳しいメンバーを選定することとなった。

## 7. その他

- (1) 鎌田委員より、資料 4-5 の原稿内容について紹介があった。
- (2) J C I からコンクリート技士研修テキストに掲載する原稿（規準の変更概要）の執筆依頼があり、その原稿案は橋本委員長が執筆し、各委員にメールで配信し、修正意見を求めることとなった。なお、土木学会の改定資料については、本小委員会では執筆しないとの報告が委員長からあった。
- (3) 今回、基本的には委員の交代は無いが、人事異動等によって委員の継続が困難になった場合は、後任の推薦も含めて、早急に連絡すること。交代は5月の常任委員会で報告する。

## 8. 次回委員会について

- ・5月27日（火）14:00～17:00
- ・各WGより、各規準の見直し内容について報告を行うこと。

以上